

未来につなぐ緑の都市づくり（防災・安全）

計画概要

◆計画期間 平成 29 年度 ~ 令和 3 年度

◆計画の目標

「未来につなぐ緑の都市づくり」の実現に向けて、防災拠点としても機能する緑あふれる都市公園の整備を目指す。また、公園施設長寿命化計画に基づき適切な改築工事等を実施し、公園利用者の安全・安心の確保を目指す。

◆計画の成果目標（定量的指標）

指標①：緑陽公園において災害時に広域避難場所等に活用できるオープンスペースの面積を1,600㎡から8,600㎡に増加

指標②：市民一人あたり公園面積を10.6㎡/人から12.1㎡/人に増加

指標③：まちな公園・街路樹などに満足している市民の割合を69.8%から72.6%に増加

指標④：公園利用者の安全・安心の確保のため、老朽化した公園施設の改築工事を実施した施設数を3施設から23施設に増加

評価内容

◆交付対象事業の進捗状況

交付対象事業	事業費※	事業の実施状況	進捗率※
A 公園事業	1,889百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・緑陽公園事業認可区域の用地取得率 約89%、整備完了(供用開始)面積率 約5% ・老朽化した施設の改修が行われた施設数 38施設 	70%
B 関連社会資本整備事業	0百万円		%
C 効果促進事業	34百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した公園施設の改築、バリアフリー化等が実施された公園数 1公園 	97%
合計	1,923百万円		

※事業費は実績額

※進捗率(%)は各事業の計画に対する実施割合

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況 (別紙1)

別紙1参照

Ⅱ 定量的指標の達成状況

指標①(緑陽公園において災害時における広域避難場所等として活用できるオープンスペースの面積)

最終目標値	8,600㎡	目標値と実績値に差が出た要因	緑陽公園の事業認可区域の用地買収は9割近くとなったが、面的に整備することが困難だったため、供用開始できる面積が少なかったことにより、最終目標値に達しなかったもの。
最終実績値	1,600㎡		

指標②(市民一人当たり公園面積)

最終目標値	12.1㎡/人	目標値と実績値に差が出た要因	新設公園の整備を進めてきたが、供用開始できる面積が少なかったことにより、一人当たり公園面積の最終目標値に達しなかったもの。
最終実績値	11.0㎡/人		

指標③(まちな公園・街路樹などに満足している市民の割合)

最終目標値	72.6%	目標値と実績値に差が出た要因	都市公園等事業による、老朽化した公園施設の改修を計画通りに実施したことにより、目標以上の市民満足度を得ることができたと思われる。
最終実績値	74.0%		

指標④(老朽化した公園施設の改築工事等の実施済み施設数)

最終目標値	23施設	目標値と実績値に差が出た要因	老朽化した施設の改修を計画通り実施したことにより、安全安心の確保と市民満足度の向上に寄与したと思われる。
最終実績値	33施設		

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)

都市公園事業による、緑陽公園の新設等により、緑のネットワークが形成された「緑あふれる快適都市」の実現に寄与するとともに、公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の計画的な改修の実施により、安心安全の確保と既存ストックの活性化が図られ、これまでの市の積極的な取り組みが、市民の満足度向上を促進している。

◆今後の方針

指標①(緑陽公園において災害時における地域防災拠点として活用できるオープンスペースの面積)

- ・都市公園事業(緑陽公園)については、災害時に地域防災拠点として活用できるオープンスペースを整備し、市民の安心・安全を確保することを目指す。

指標②(市民一人当たり公園面積)

- ・都市公園事業(緑陽公園)については、次期計画にて、第2期区域に着手し、防災拠点としても機能する緑あふれる都市公園の整備を推進し、市民一人当たり公園面積の増加に寄与する。

指標③(まちの公園・街路樹などに満足している市民の割合)

- ・未整備公園の事業進捗を図るとともに、既存公園施設の老朽化対策やバリアフリー化などの事業推進により、市民満足度の向上を目指す。

指標④(老朽化した施設の改修が行なわれた施設数の割合)

- ・公園施設長寿命化計画に沿った公園施設の改修や長寿命化対策を次期計画に位置づけ、計画的な実施に努める。

◆事後評価の実施体制、実施時期

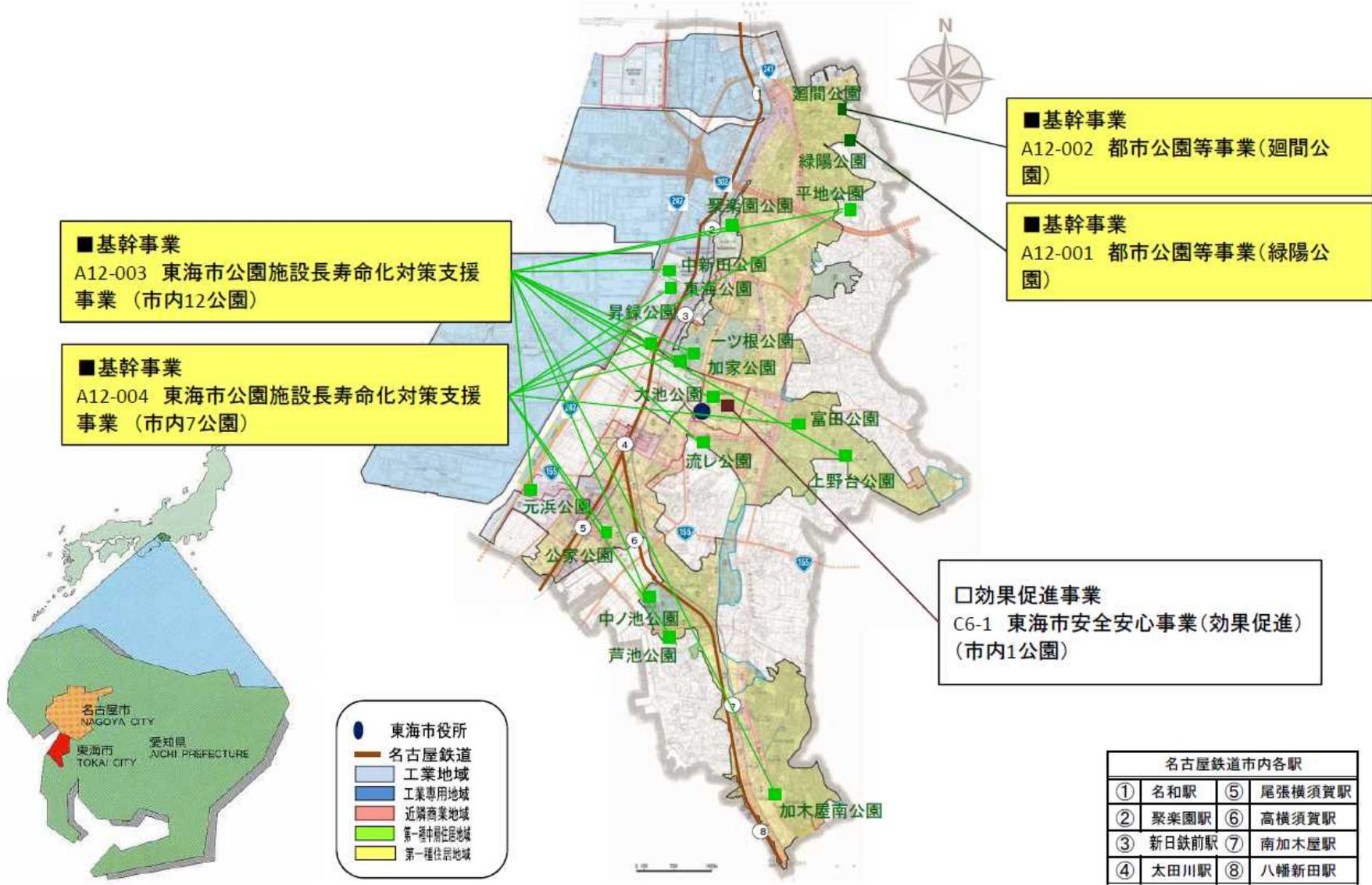
事後評価の実施体制	学識経験者、市議会議員及び公募による市民で組織された東海市社会資本整備総合交付金評価委員会において事後評価を実施
事後評価の実施時期	令和5年2月28日
公表の方法	東海市ホームページにて公表

参考資料

◆定量的指標

成果目標	当初現況値	中間目標値	最終目標値
緑陽公園において災害時における広域避難場所として活用できるオープンスペースの面積	1,600㎡	1,600㎡	8,600㎡
市民一人当たり公園面積	10.6㎡/人	11.1㎡/人	12.1㎡/人
まちの公園・街路樹などに満足している市民の割合	69.8%	71.5%	72.6%
老朽化した公園施設の改築工事等の実施済み施設数	3施設	14施設	23施設

参考図面



【基幹事業】

- 事業名 東海市公園施設長寿命化
対策支援事業
(平地公園四阿改修)
- 事業概要 四阿の更新 1基
- 事業箇所 東海市名和町法秀地内
- 事業主体 東海市
- 事業効果 老朽化した四阿を更新することで、
公園利用者の安全・安心を確保し、
既存公園の活性化を図り、
市民満足度の向上に寄与した。



整備後



整備前



【基幹事業】

- 事業名 東海市公園施設長寿命化
対策支援事業
(一ツ根公園遊具改修)
- 事業概要 複合遊具の更新 1基
- 事業箇所 東海市富貴ノ台一丁目地内
- 事業主体 東海市
- 事業効果 老朽化した複合遊具を更新することで、公園利用者の安全・安心を確保し、既存公園の活性化を図り、市民満足度の向上に寄与した。



整備後



整備前

